

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331K	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:浅尾知子) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	浅尾 知子			1	必修	2前期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、色々な課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実戦につなげていく。幼児学ゼミナールⅠでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、ワークショップやげんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。ディプロマ・ポリシーの①②③④⑥に相当する。

学修内容	到達目標
① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができるようにする。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 ③ 活動報告を文章化し、報告することができるようにする。 ④ 保育者として配慮すべきことを考え、まとめる。	① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができる。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 ③ 子どもの造形やその造形理論について理解し、指導する手立てを修得することができる。 ④ 保育者として配慮すべき内容を知ることができる。 ⑤ ディプロマ・ポリシーの①②③④⑥に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自ら進んで学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	提出物の期限を守ることができる。
考え抜く力	課題発見力	指導案、活動計画案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。
	計画力	幼児の発達段階を理解した上で、幼児向け造形活動の計画を立てることができる。
	創造力	指導案、活動計画案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。
チームで働く力	発信力	指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。
	傾聴力	計画者の案を理解し、グループ活動することができる。
	柔軟性	不測の事態に直面した際、柔軟に計画の見直しを行うなど、臨機応変に対応することができる。
	状況把握力	活動時、周囲の状況を見極めながら、冷静に判断をして行動することができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：特になし(必要に応じて資料配付)
 参考文献：幼児造形の基礎 樋口一成編著 萌文書林

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現(造形Ⅰ)、幼児表現(造形Ⅱ)、保育内容(表現)、子どもの造形
 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
・活動を楽しみ、そこから学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。 ・事前事後の学習には、NotebookLMを活用して取り組んでください。	・20分を超えた遅刻は、欠席扱いとする。 ・全ての提出物を出さないと及第しない。 ・提出期限に遅れた場合は減点する。 ・授業態度が悪い場合は減点することがある。 ・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり計画をしっかりと立案できたか。 段取りがしっかりとできたか。 制作を完遂できたか。 指導計画を立案し、子どもへの指導へ敷衍しながら、取り組むことができたか。 教材研究にしっかりと取り組めたか。 		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：自ら進んで学修をすることができる。 実行力：提出物の期限を守ることができる。 課題発見力：指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。 創造力：指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。 発信力：指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。 傾聴力：計画者の案を理解し、グループ活動することができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
グループ内で協力しながら、子どもの育ちを理解し、適した造形あそびを計画立案し、指導案を完成させ、実施することができるようにする。 子どものことを考えながら、造形素材について会得し、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 S(秀)になるためには、全課題の合計が90点以上であること。	子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。 造形素材のレポートを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 Cについては、15週予定表参照のこと。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション	講義	授業内容を理解することができる。	(復習) 授業で学修したことをNotebookLMを活用して、復習する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
2	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
3	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案をすることができる。	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
4	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案をすることができる。	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
5	造形あそびの実践① (岡崎げんき館活動)	学外活動 フィードバック (活動の評価)	計画した内容に基づいて子どもの指導ができる 親と関わることができる	(予習) 活動の準備できていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。	45	主体性 実行力 傾聴力
6	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案をすることができる。	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
7	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (演習の評価)	計画立案をすることができる。	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
8	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、七宝焼き、アクセサリー作り、美術館・博物館鑑賞など、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作をすることができる。	(予習) 活動の準備できていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、七宝焼き、アクセサリー作り、美術館・博物館鑑賞など、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作をすることができる。	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性
10	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、七宝焼き、アクセサリー作り、美術館・博物館鑑賞など、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作をすることができる。	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性
11	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(演習の評価)	計画立案をすることができる。	(予習)グループ活動の内容を考えておく。 (復習)グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力
12	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(演習の評価)	計画立案をすることができる。	(予習)グループ活動の内容を考えておく。 (復習)グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
13	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、七宝焼き、アクセサリー作り、美術館・博物館鑑賞など、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作をすることができる。	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性
14	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、七宝焼き、アクセサリー作り、美術館・博物館鑑賞など、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作をすることができる。	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性
15	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、七宝焼き、アクセサリー作り、美術館・博物館鑑賞など、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作をすることができる。	(予習)活動の準備でできていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331B	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:伊藤照美) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	伊藤 照美			1	必修	2前期
科目の概要							
<p>各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。(DP①⑥) これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。(DP②⑥) また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。(DP⑥) 単位としてはⅠとⅡに分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの授業と受け止めて欲しい。(DP③⑥) 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。(DP④⑥)</p>							
学修内容				到達目標			
① いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組む、研究・実践する。 ② 「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと実践的に関わる。				① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。(DP④⑥) ② 研究成果を報告、発表するために教材を集めることができる。(DP②③⑥) ③ 岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる。(DP①⑥)			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこととなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：各ゼミナールにて提示される 参考文献：保育所保育指針 飯田聡彦 フレーベル館、幼稚園教育要領 飯田聡彦 フレーベル館、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 飯田聡彦 フレーベル館 各¥149+税							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての科目と関連する。 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許・準学校心理士(シラバスに記載なし)							
学修上の助言				受講生とのルール			
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。				・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント						
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①							
				②							
				③							
	小テスト		0	①							
				②							
				③							
	レポート		0	①							
				②							
③											
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓					・各ゼミナールの担当教員が評価する。 ・「研究報告会への取り組み」、「げんき館での活動」が評価される。		
			②	✓							
			③	✓							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				<small>（主体性）</small> 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 <small>（実行力）</small> 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 <small>（課題発見力）</small> 思い込みや臆測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 <small>（想像力）</small> 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 <small>（発信力）</small> 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 <small>（傾聴力）</small> 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 <small>（規律性）</small> 無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。			
			②	✓							
			③	✓							
総合評価割合			100								

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。 総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 総合評価79～70B（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナール活動の目的と内容について確認する 身体表現や遊びを通して運動の楽しさを理解する	演習 ・授業の目的や到達目標、全体の流れを説明する ・シラバスに基づいて評価方法、課題の提出方法、授業の進行スケジュールなどを説明する	シラバスを読んでおく。	シラバスを参照しておく	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	室内スポーツ活動 球技型2種目選択し企画・立案する	演習 全員で考えてスポーツをする 理解確認 球技各種目を確認しフィードバックする	2種目の球技型スポーツの内容・ルールが理解・習得できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習) 2種目の運動を復習する(復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	1.2年生合同ゼミナール	演習 理解確認 合同ゼミナールの反省点をあげフィードバックする。	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる	準備運動をしておく(予習) 適度に運動しておく(復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	1.2年生合同ゼミナール	演習 理解確認 合同ゼミナールの反省点をあげフィードバックする	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる。	準備運動をしておく(予習) 適度に運動しておく(復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	室内スポーツ活動 集団あそびの企画・立案, 実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてスポーツをする 理解確認 集団あそびについて意見を聞きフィードバックする	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備。 こどもまつりのテーマソングの踊りの練習、どうぶつ体操などの練習をする。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) 前回選択した球技型2種目の内容・ルールを復習する 準備運動をしておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	室内スポーツ活動 集団あそびの企画・立案, 実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてスポーツをする 理解確認 集団あそびについて意見を聞きフィードバックする	企画した集団あそびの内容・ルールが理解・習得できる。。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) 準備運動をしておく(予習) 前回選択した球技型2種目の内容・ルールを復習する。(復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	季節に合わせた制作活動① 制作の企画・立案, 実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 グループで考えたことを教える 理解確認 制作活動についての意見を聞きフィードバックする 「特別講師」	企画した制作について内容が理解・習得できる。	あらかじめ制作について調べておく(予習復習) 制作する物をイメージしておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	季節に合わせた制作活動② 制作の企画・立案, 実践する	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 ビデオ撮影 グループで考えたことを教える 理解確認 制作活動についての意見を聞きフィードバックする 「特別講師」	企画した制作について内容が理解・習得できる。	あらかじめ制作について調べておく(予習復習) 制作する物をイメージしておく(予習)	45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備 こどもまつりのテーマソングの踊りの練習、どうぶつ体操などの確認をする	演習 理解確認 オープンキャンパス、ボランティア、こどもまつり等の意見を聞きフィードバックする。	オープンキャンパス・ボランティア活動の企画立案と準備を積極的に行うことができる。	テーマソング、どうぶつ体操の予習復習をする(予習復習) 適度に運動しておく(予習) オープンキャンパスやこどもまつりで使用する道具など事前に準備しておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	ニュースポーツを子ども向けにアレンジする(ソフトディスクを使った各種のニュースポーツ)実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 全員で考えてニュースポーツをする 理解確認 ニュースポーツの準備状況を把握しフィードバックする	積極的に行うことができる。 アレンジして考えたニュースポーツの内容・ルールが習得できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) 事前にニュースポーツを確認しておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ニュースポーツを子ども向けにアレンジする(ネット型を使った各種のニュースポーツ)実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 全員で考えてニュースポーツをする 理解確認 ニュースポーツの準備状況を把握し評価しフィードバックする	積極的に行うことができる。 全員でアレンジして考えたニュースポーツの内容・ルールが習得できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 事前にニュースポーツを確認しておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	身体表現・リズム体操を考える(2.3歳児のふれあい歌あそびから2~3曲)実践	演習 グループ討議 グループディスカッション パソコンを使用し、身体表現およびリズム体操を調べる。 発表 ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 各グループで考えたことを教える 理解確認 身体表現・リズム体操の準備状況を把握しフィードバックする	積極的に行うことができる。 発育年齢に応じた動きを考えることができる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) あらかじめ子ども向けの体操を調べておく(予習) 柔軟体操をしておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	身体表現・リズム体操を考える(2.3歳児のふれあい歌あそびから2~3曲)実践	演習 グループ討議 グループディスカッション 発表 ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 各グループで考えたことを教える 理解確認 身体表現・リズム体操の準備状況を把握し評価しフィードバックする	積極的に行うことができる。 発育年齢に応じた動きを考えることができる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(予習復習) リズム体操を復習する(復習) 柔軟体操をしておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	実習・就職活動への課題に取り組む	演習 理解確認 実習、就職活動に向けて準備状況を把握しフィードバックする	積極的に行うことができる	実習先・就職希望先を調べておく(予習復習) 課題を準備しておく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	前期授業の振り返りとまとめ	演習 7.12.13回の授業で撮影した動画を視聴し自己評価しまとめる 理解確認 総合的に評価しフィードバックする	積極的に行うことができる	授業の振り返り課題を準備しておく(予習・復習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331F	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ: 谷村和秀) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	谷村 和秀			1	必修	2年前期
科目の概要							
<p>① 1年間、グループでゼミナールを展開していく、お互いが高められるように仲間づくりを行う。</p> <p>② 障がいのある子どもを理解した上で、楽しんでもらえる遊びを考え、実施する。</p> <p>③ 岡崎げんき館の活動では、親子に楽しんでもらえる遊びを考え、実施し、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。 ※これらの内容はディプロマ・ポリシーの①～④、⑥に相当する。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① チームメンバーで協働していくことを学ぶ。</p> <p>② 障がいのある子どもを理解したい上で、楽しめる遊びを計画し、実施し、評価する。</p> <p>③ 乳幼児とその保護者が楽しめる遊びの展開方法を学ぶ。</p>				<p>① チームメンバーの名前を覚え、意見が交換できるようになる。(D.P.①④)</p> <p>② 障がいのある子どもに対して、遊びが計画し、実施できる。(D.P.②③④⑥)</p> <p>③ 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画し、実施できる。(D.P.②③④⑥)</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。					
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考慮して期限内に完成できるよう進めることができる。					
	創造力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。					
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる					
	状況把握力	自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。					
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：特になし 参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての開講科目 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許							
学修上の助言				受講生とのルール			
幼児学ゼミナールは学生が主体的に活動を行う科目です。だから、与えられた課題は決められた日に提示できるようにすること。				<p>① 無断欠席や遅刻をしない学生</p> <p>② 積極的にゼミ活動に参加できる学生</p> <p>③ 自己選択・自己責任ができる学生</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	60	①		✓	① 岡崎げんき館の活動を通して、学んだこと考えたことをまとめる
				②		✓	② 障がいのある人や子どもの関わりを通して、学んだこと・考えてことをまとめる。
③				✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	・ゼミメンバー間で話し合う機会が多いため、意見をもって発言することも大切ですが、相手の話を聞きことも大切である			
		②	✓				
		③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） 課題を取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 （実行力） 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 （課題発見力） 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 （創造力） 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 （発信力） ゼミメンバー及び利用者（親子・障がいのある子ども）に伝わるように表現できる。 （傾聴力） 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 （規則性） 遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するルールを守ることができる		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① チームメンバーの名前を覚え、意見が交換できるようになる ② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画し、実施できる ③ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画し、実施できる。 ※ 総合評価が90点以上はS（秀）、89～80点はA（優）とする	① チームメンバーの名前を覚え、学生の考えや意見が伝えることができる ② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画できる。 ③ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画できる ※ 総合評価が79～70点はB（良）、69～60点はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	①ゼミメンバーの自己紹介を行う。 ②1年間のゼミナールのスケジュールを確認する ③レクリエーションを通して、ゼミメンバーの交流を行う。	演習	①ゼミメンバーの顔と名前が一致できる。 ②1年間のゼミナールのスケジュールを確認する	(予習) ・ゼミナールのメンバーを確認する。 ・シラバスを確認する (復習) アイスブレイクの方法を考える	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	岡崎げんき館活動①の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習) 岡崎げんき館活動について、抄録集を読むこと (復習) 乳幼児の遊びを調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
3	岡崎げんき館活動①の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導が考えることができる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	岡崎げんき館活動① ①子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る	演習 (1・2年合同ゼミ)	①後輩に対する気配りができる ②行事の企画・運営方法が理解できる。	(予習) 1・2年合同ゼミナールで行う内容を確認する。	45	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る	演習 (1・2年合同ゼミ)	演習 (1・2年合同ゼミ)	(復習) 1・2年合同ゼミナールを企画・運営するのであれば、どのような内容で行うか考える。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	岡崎げんき館活動を振り返る(レポート作成)	演習 (レポート作成) フィードバック	①岡崎げんき館活動とおして、学べたこと・課題を発見する。	(予習) 岡崎げんき館活動の振り返りを行う (復習) 親子に対しての遊びを確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
8	岡崎げんき館活動②の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習) 岡崎げんき館活動①について、振り返ること (復習) 乳幼児の遊びを調べる。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	岡崎げんき館活動②の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導が考えることができる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	岡崎げんき館活動② ①子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	スペシャルオリンピックスのアスリートとの交流でのゼミ活動の準備① ～スペシャルオリンピッククスとは～ (外部講師 スペシャルオリンピッククス日本・愛知 八塚奈保子氏)	講義・演習	①スペシャルオリンピッククスについて、理解できる。 ②ヤングアスリートプログラムについて、理解できる。	(復習) スペシャルオリンピッククスについて、まとめる。	45	主体性 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	スペシャルオリンピッククスでのゼミ活動の準備② ～障がいのある子どもに対しての遊びを調べる～	演習	①障がいのある人(知的障がい、発達障がい)の特性が理解できる。 ②障がいのある子どもに対しての遊びが理解できる。	(予習) 知的障がい・発達障がいの特性を調べる。 (復習) 障がいのある人に対しての遊びをまとめる	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	スペシャルオリンピッククスでのゼミ活動の準備③ 前回の演習で調べた遊びを挙げ、ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある人に対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	スペシャルオリンピッククス(ヤングアスリートプログラム)でのゼミ活動 ～実際、学生が立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う～	演習	①障がいのある子どもに対しての遊びの展開方法が理解できる ②障がいのある人に関わる視点が理解できる。	(予習) ①スペシャルオリンピッククスの役割を確認する。 ②立案した遊びを確認する。 (復習) ①スペシャルオリンピッククスでの活動を振り返る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	スペシャルオリンピッククスでのゼミ活動の振り返りを行う(レポート作成)	演習(レポート作成) フィードバック	障がいのある子どもに対しての遊びのプロセスが理解できる	(予習) ①スペシャルオリンピッククスでの活動を振り返る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52331I	指導法研究Ⅰ(幼児学ゼミナールⅠ:本多峰和) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅰ	本多 峰和			1	必修	2年前期

科目の概要

「音楽表現を考えよう」をゼミタイトルとする。音楽表現は様々である。ピアノやバイオリンなどの楽器演奏。声楽、合唱、ゴスペル、そして、バレエ、ミュージカル、ダンスなど、さらに幼児においては手あそび、体あそびなど動きを伴う音楽、また童歌や唱歌、童謡、こどもの歌、器楽演奏など、実に多様である。どのように音楽を表現するか、表現の仕方でも変わってくる。このように多様な音楽表現における視野を広く持つことを目的とし、各自が主体的に子どもたちにおける音楽表現を研究する。また、「岡崎げんき館」では親子で楽しく歌ったり踊ったりする内容を考え、現場で活かせる実践活動を目標とする。学びの過程で課題を発見し、習得した知識や技術を活用し、自分なりに課題解決できる力を身につける。(D.P.①②③④⑥)

学修内容	到達目標
① 「唱歌」「童謡」「童歌」の違い、舞台芸術である「ミュージカル」「バレエ」「オペラ」の違いを認識する。 ② 「手あそび」「体あそび」の表現を考察する。 ③ 音楽表現の視野を広げ、保育に活かせる音楽表現を創造する。 ④ 「岡崎げんき館」に向けて指導案を作成する。 ⑤ 「岡崎げんき館」の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わり、保育をさらに理解する。	① 「唱歌」「童謡」「童歌」「ミュージカル」「バレエ」「オペラ」の違いについて説明することができる。(D.P.③) ② 「手あそび」「体あそび」の表現を考察することができる。(D.P.③) ③ 音楽表現の視野を広げ、保育に活かせる音楽表現を自分なりに表現することができる。(D.P.③) ④ 「岡崎げんき館」に向けて指導案を考察することができる。(D.P.③) ⑤ 「岡崎げんき館」の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わる。(D.P.①②③④⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題を行うために必要な知識について、文献を使って自己学習をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	実践を行うための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べる。(D.P.③)
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

参考文献: 「子どものあそびとうた」小泉文夫著、「童謡はどこへ消えた」服部公一著、「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部、「童謡・唱歌の世界」金田一春彦著、「唱歌・童謡100の真実」竹内貴久雄著、「童謡の風景1・2・3」合田道人文 村上保絵、「わらべうたが子どもを救う」大島清・大熊進子・岩井正浩著、「オペラでわかるヨーロッパ史」加藤浩子著、「オペラへの招待」ジョン・ルイス・デイガニエターニ著、「オペラ史 上」D・J・グラウト著、「オペラのすべて」アレクサンドロ・タヴェルナ著、「知識ゼロからの ミュージカル入門」塩田明弘著、「ミュージカルおもしろ雑学事典」石原隆司著、「ブロードウェイ・ミュージカル」井上一馬著、「ミュージカル史」小山内伸著、「バレエの世界へようこそ: あこがれのバレエ・ガイド」リサ・マイルズ著、「ビジュアル版バレエ・ヒストリー バレエ誕生からバレエ・リュスまで」芳賀直子著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著、「保育内容 音楽表現」大畑祥子編著、「幼児の音楽教育」音楽教育研究会編、「世界のおそび歌35/40」後藤田純生著、「なぜ、いま学校で「表現教育」なのか?」芸田協出版部、「幼児期」岡本夏木著、

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 幼児表現(音楽Ⅰ)(音楽Ⅱ)(音楽Ⅲ)、子どもの音楽表現、保育内容(表現)
 資格との関連: 保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加および活動。	欠席をしない。学生相互の協力関係。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①							
				②							
				③							
				④							
				⑤							
	平常評価	小テスト		0	①						
					②						
					③						
					④						
					⑤						
		レポート		20	①						「岡崎げんき館」での活動についての振り返りおよび反省レポートを提出し、評価する。 (400～500字) 学外授業の振り返りレポートを評価する。(400～500字) 後日提出したものは80%の評価とする。
					②						
					③	✓					
					④	✓					
					⑤	✓					
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		70	①	✓					「岡崎げんき館へ向けての活動」：準備段階での積極的な意見や発言、協調性。そして「幼児学ゼミナール報告会」に対する意欲的な取り組みを評価する。 各自「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」について調べたことを発表する。後日発表したものは80%の評価とする。
					②	✓					
					③	✓					
					④	✓					
					⑤	✓					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				<small>(主体性)</small> 課題に取り組むにあたり、必要な知識を文献を用いて自己学習することができたか。 <small>(実行力)</small> 一度決めたことは最後までやり切ることができたか。 <small>(課題発見力)</small> 思い込みや臆測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 <small>(創造力)</small> 物事を考える時に、固定観念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 <small>(発信力)</small> 予習や講義で身に付けた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 <small>(傾聴力)</small> 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 <small>(規則性)</small> ・遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。			
			②	✓							
			③	✓							
			④	✓							
			⑤	✓							
総合評価割合			100								

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができおり、研究課題に対して深く理解をしている。</p> <p>A (優) の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができおり、研究課題に対して理解をしている。</p>	<p>B (良) の基準 協調性を持ち、真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。</p> <p>C (可) の基準 協調性を持ち、研究課題に対して理解をしている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミの概要説明	講義 グループワーク	ゼミ内容を理解し、「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」から興味のあるものを選択する。ゼミの内容を理解できる。	(復習)「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」のおさらい。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	NotebookLMと文献を使い「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」をまとめる。	調べ学習 フィードバック(調べ学習の内容を評価する)	NotebookLMと文献を使い積極的に課題に取り組むことができる。	(予習)調べ学習の参考図書を準備しておく。 (復習)調べたことを見直し、さらに調べるべきことを追求する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 規律性
3	チームで働く力を高める 1・2年生合同ゼミ	演習 グループワーク	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(復習)レポートを作成する	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
4	チームで働く力を高める 1・2年生合同ゼミ	演習 グループワーク	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(復習)レポートを作成する	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
5	NotebookLMと文献を使い「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を各自まとめる。	調べ学習 ディスカッション フィードバック(調べ学習の内容を評価する)	NotebookLMと文献を使い「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を分かりやすく発表できるようにまとめる。積極的に課題に取り組み、分かりやすくまとめることができる。	(予習)調べたことを見直し、さらに調べるべきことを追求する。 (復習)調べたことを見直し、さらに調べるべきことを追求する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 規律性
6	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」をまとめたものを発表する。	調べ学習 ディスカッション 発表 フィードバック(調べ学習、発表の内容を評価する)	「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」を各自発表する。自信を持って発表することができる。	(予習)調べたことを見直し、さらに調べるべきことを追求する。 (復習)「唱歌」「童謡」「わらべうた」「ミュージカル」「オペラ」「バレエ」の各レジュメを見直す。	90	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 規律性
7	「手あそび」「体あそび」の音楽表現について考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「手あそび」「体あそび」の音楽表現について考え年齢にあった「手あそび」「体あそび」の表現を考えることができる。	(予習)興味のある「手あそび」「体あそび」を発表できるようにする。 (復習)授業で扱わなかった「手あそび」「体あそび」について保育との関連性を考える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性
8	表現について考える。専門的な芸術作品に触れ感性を磨き自身の表現力を向上させる。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	感性を磨き自身の表現力を向上することができる。	(予習)興味のある芸術作品を発表できるようにする。 (復習)授業で扱わなかった芸術作品にも興味を持ち、感性を磨く。自分なりの芸術鑑賞ができる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	バレエ、ダンスから、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	バレエ、ダンスを参考にし、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	(予習) バレエやダンスに興味を持つ。 (復習) 興味を持ったバレエやダンスの鑑賞。	90	主体性 働きかけ力 創造力 柔軟性 規律性
10	ミュージカル映画から、保育に活かせる音楽表現について考える。	映像鑑賞 ミュージカル映画を鑑賞しディスカッション後、各自レポート提出。	ミュージカル映画から、保育に活かせる音楽表現について考えることができる。	(予習) ミュージカルに興味を持つ。 (復習) 興味を持ったミュージカルの鑑賞。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
11	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	自身のアイデアや意見交換をしながら活動内容を考える。	(予習) 絵本の下調べをしておく。 (復習) 絵本の読み聞かせのおさらい。0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた、唱歌、童謡を考えておく。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
12	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する絵本を吟味する。声に出して読んだり聞くことで「岡崎げんき館」で行う読み聞かせのイメージができる。	(予習) 手作り楽器を調べておく。 (復習) 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた・唱歌・童謡の復習。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
13	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業し、質のよい手作り楽器を目指す。	(予習) 「岡崎げんき館」で行う手あそび、体あそびなど自信を持って行えるようにする。 (復習) 手作り楽器の補修など安全面に配慮する。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 規律性
14	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業し、質のよい手作り楽器を目指す。	(予習) 「岡崎げんき館」で行う手あそび、体あそびなど自信を持って行えるようにする。 (復習) 手作り楽器の補修など安全面に配慮する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	「岡崎げんき館」での活動・振り返り	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」での活動を振り返り、レポートにまとめる。「岡崎げんき館」での活動を各自が振り返ることで今後の活動を高めることができる。	(予習) 「岡崎げんき館」で行う内容(変更など)を把握し、手作り楽器の補修など安全面にもう一度配慮する。 (復習) 「岡崎げんき館」での活動の反省と振り返りをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332J	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：浅尾知子) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	浅尾 知子			1	必修	2後期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、色々な課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実戦につなげていく。
 幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。
 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。
 本授業は、ディプロマポリシーの①②③④⑥に相当し、これらを身につけるために行う。

学修内容	到達目標
① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができるようにする。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 ③ 活動報告を文章化し、報告することができるようにする。 ④ 保育者として配慮するべきことを考え、まとめる。	① 子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画し、実施することができる。 ② 造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 ③ 活動報告を文章化し、報告することができる。 ④ ディプロマ・ポリシーの①②③④⑥に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自ら進んで学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	提出物の期限を守ることができる。
考え抜く力	課題発見力	指導案、レポートを作成する上で、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	指導案、レポートを作成する上で、創造力を発揮することができる。
チームで働く力	発信力	指導内容を熟知した上で、指導ができる。ものづくり計画を立案し、発信することができる。
	傾聴力	計画者の案を理解し、グループ活動することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：特に無し(必要に応じて資料等を配付)
 参考文献：幼児造形の基礎

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現(造形Ⅰ)、幼児表現(造形Ⅱ)、保育内容(表現)、子どもの造形
 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許・(准)学校心理士

学修上の助言 **受講生とのルール**

・保育士となった際に役立つ技能の習得を目指しながら、興味をもった活動についてさらに追求する気持ちをもって臨んでください。 ・事前事後の学習には、NotebookLMを活用して取り組んでください。	・全ての提出物を出さないと及第しない。 ・提出期限に遅れた場合は減点する。 ・授業態度が悪い場合は減点することがある。
--	---

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
平常評価	レポート	0	①			
			②			
			③			
			④			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>グループ内で協力しながら、子どもの育ちを理解し、適した造形あそびを計画立案し、指導案を完成させ、実施することができるようにする。</p> <p>子どものことを考えながら、造形素材について会得し、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。</p> <p>S(秀)になるためには、全課題の合計が90点以上であること。</p>	<p>子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。</p> <p>造形素材のレポーターを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。</p> <p>Cについては、15週予定表参照のこと。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション	講義	授業内容を理解することができる	(復習) 授業で学修したことを復習する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
2	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
3	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
4	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
5	造形あそびの実践① (岡崎げんき館活動)	学外活動 フィードバック (活動の評価)	計画した内容に基づいて子どもの指導ができる 親と関わることができる	(予習) 活動の準備できていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 傾聴力
6	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
7	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習 フィードバック (演習の評価)	グループ活動計画の提出と添削 計画立案できる	(予習) グループ活動の内容を考えておく。 (復習) グループ活動の内容を検証、検討する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 課題発見力 計画力 発信力
8	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック (活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習) 活動の準備できていないことを完了する。 (復習) 反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、アクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習)活動の準備できていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性
10	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ1日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、焼き物、染め物、レザークラフト、シルバーアクセサリ作りなど、3時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動 グループ活動計画の提出と添削 フィードバック(活動の評価)	与えられた条件に基づいて作品制作できる	(予習)活動の準備できていないことを完了する。 (復習)反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 創造力 規律性
11	ゼミ報告会の原稿作成	演習 フィードバック(演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ゼミ報告会の原稿作成	演習 フィードバック(演習の評価)	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ゼミ報告会の原稿作成	演習 フィードバック(演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ゼミ報告会の原稿作成 リハーサルの実施	演習 フィードバック(演習の評価)	活動内容を文章化できる	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)原稿の推敲をする。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	ゼミ報告会の原稿作成 リハーサルの実施	演習 フィードバック(演習の評価)	活動内容を文章化し、後期の活動の反省を行うことができる。	(予習)前回までにできなかった原稿の作成を行う。 (復習)反省・まとめを整理する。 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332B	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:伊藤照美) eminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	伊藤 照美			1	必修	2後期

科目の概要

担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。(DP①⑥)
 これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。(DP②⑥)
 また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。(DP⑥)
 単位としてはⅠとⅡに分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの授業と受け止めて欲しい。(DP③⑥)
 学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。(DP④⑥)

学修内容	到達目標
① いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組む、研究・実践する。 ② 「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める。 ③ 「岡崎げんき館」にて子どもたちと実践的に関わる。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めることができる。(DP④⑥) ② 研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。(DP②③⑥) ③ 岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めることができる。(DP①⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこととなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じて適宜紹介する
 参考文献：幼保連携型認定こども園教育、幼稚園教育要領

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：すべての科目と関連する。
 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	小テスト		0	①				
				②				
				③				
	レポート		0	①				
				②				
③								
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナールの教員が評価する。 ・「研究報告会への取り組み」や「幼児学ゼミナール抄録集」、「げんき館での活動」が評価される。 	
			②	✓				
			③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			<small>（主体性）</small> 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 <small>（実行力）</small> 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 <small>（課題発見力）</small> 思い込みや臆測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 <small>（想像力）</small> 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 <small>（発信力）</small> 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 <small>（傾聴力）</small> 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 <small>（規則性）</small> ・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。 総合評価90以上はS（秀）、89～80はA（優）とする。	各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 総合評価79～70B（良）、69～60はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	室内運動活動 子どもの運動あそび 実践	演習 全員で考えて運動あそびをする 理解確認 運動遊びを確認し フィードバックする	運動あそびの内容・ ルールが理解・習得で きる	企画した内容を確認し 実践できるようにして おく(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	季節に合わせた制作活 動 制作の企画・立案・実 践する	演習 グループ討議 グループディスカッ ション 理解確認 制作活動についての意 見を聞きフィードバッ クする 「特別講師」	企画した制作について 内容が理解・習得でき る。	制作についてあらかじ め調べておく(予習・ 復習) 制作物をイメージして おく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	運動会の企画・立案① (保育園・幼稚園で行 われる運動会を想定し て考える) 実践 PC活用	演習 グループで考えたことを教 える PCを活用し、曲や振付のア イディアを取り入れる グループディスカッション 発表 理解確認 運動会の準備状況を評価し フィードバックする	発育年齢に応じて、運 動会の種目を考えるこ とができる 積極的に取り組み、協 力することができる。	持久力をつけるために 適度に運動できる準備 をする(予習) 準備運動をしておく (復習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	運動会の企画・立案② (保育園・幼稚園で行 われる運動会を想定し て考える) 実践	演習 グループで考えたことを教 える グループディスカッション 発表 ビデオ撮影 理解確認 運動会の準備状況を評価し フィードバックする	発育年齢に応じて、運 動会の種目を考えるこ とができる 積極的に取り組み、協 力することができる。	発育年齢に応じて、運 動会の種目を考えてく る(予習) 積極的に取り組み、協 力する(復習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	岡崎げんき館参加の企 画・立案②	演習 理解確認 げんき館の企画につい て準備状況を評価し フィードバックする	岡崎げんき館の企画・ 立案と準備を積極的に できる	持久力をつけるため 適度に運動しておく (予習) 岡崎げんき館活動の器 具などの事前準備、確 認する(復習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	岡崎げんき館活動② 親子とのふれあい 実践	演習 理解確認 げんき館の企画・立案 について準備状況を評 価しフィードバックす る	こどもとの関わりで子 どもへの声かけや援助 などが積極的に行うこ とができる。	企画した内容を確認し ておく(復習) 企画した内容を実践で きるようにしておく (予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	岡崎げんき館活動の振 り返り	演習 理解確認 げんき館での実践を評 価しフィードバックす る	自分で意見を出し協力 できる。 グループ内での役割を 理解できる。	持久力をつけるため適 度に運動しておく(復 習) ゼミナール報告会に向 けての企画を考えてお く(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	ゼミナール報告会に向 けて企画・立案	演習 過去のDVDを参考にす る パソコンを使用し子ど も向けのダンスや体操 を調べる 理解確認	ゼミナール報告会への 企画立案と準備を積極 的にできる。	持久力をつけるため適 度に運動しておく(復 習) 事前に準備をしておく 個人研究を考えておく (予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 全員で考える 理解確認 抄録集の作成状況を把握し評価しフィードバックする	ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる 企画内容を理解できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 事前に準備をしておく 考えた個人研究をまとめておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	1年生への研究報告会 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 グループで分かれて考える グループディスカッション 発表 理解確認 ゼミナール報告会の準備状況を把握しフィードバックする	ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる 企画内容を理解できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(復習) 事前に準備する。曲や振付を考え、個人研究をまとめておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ゼミナール報告会の準備活動	演習 グループで分かれて考える グループディスカッション 発表 理解確認 ゼミナール報告会の準備状況を把握し評価しフィードバックする	ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる。 企画内容を理解できる。 自分の役割を理解できる。	持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(復習) 事前に準備する。曲や振付を考え個人研究をまとめておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ゼミナール報告会の準備活動	演習 グループで分かれて考える グループディスカッション 発表 グループディスカッション 理解確認 ゼミナール報告会の準備状況を把握し評価しフィードバックする	ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる。 企画内容を理解できる。 自分の役割を理解できる。	創作した動きなどを復習する(復習) 持久力をつけるため適度に運動しておく(予習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ゼミナール報告会の準備活動	演習 全員 グループで分かれて考える グループディスカッション 発表 プレゼンテーション ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響 理解確認 リハーサルに向けて総合的に評価しフィードバックする	ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる。 企画内容を理解できる。 自分の役割を理解できる。	創作した動きなどを復習する(復習) 持久力をつけるため適度に運動しておく(予習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	ゼミナール報告会の準備活動 幼児学ゼミナール報告会に向けてリハーサル	演習 全員 グループで分かれて考える プレゼンテーション ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響で最終確認 理解確認 ゼミナール報告会の報告内容を総合的に評価しフィードバックする	これまでの創作が全て完成	完成した動きなどを細かく確認する持久力をつけるため適度に運動しておく(復習) 準備運動をしておく柔軟体操をしておく(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会	演習 全員 これまで企画・立案してきた身体表現を、幼児学ゼミナール報告会で発表する 理解確認 ゼミナール報告会の報告内容を総合的に評価しフィードバックする	これまでの創作が全て完成され、発表できる	適度に運動しておく(復習) 報告前の全体確認をする(予習)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332F	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ：谷村和秀) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	谷村和秀			1	必修	2年後期
科目の概要							
<p>①岡崎げんき館の活動では、親子に楽しんでもらえる遊びを考え、実施し、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。 ②障がいのある子どもを理解した上で、楽しんでもらえる遊びを考え、実践し、課題を発見し、今後に生かす。 ③幼児学ゼミナール報告会での報告を通して、インクルーシブ保育・教育について深める ※これらの内容はディプロマ・ポリシーの①～④、⑥に相当する。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 乳幼児とその保護者が楽しめる遊びの展開方法を深める ② 障がいのある子どもを理解したい上で、楽しめる遊びを計画し、実施し、評価する。 ③ 幼児学ゼミナール報告会での報告を行う。</p>				<p>① 幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスを理解した上で実施できる。(D.P.②③④⑥) ② 障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスがを理解した上で実施できる。(D.P.②③④⑥) ③ インクルーシブ保育・教育の考えを深め、実践することができる(D.P.①～④、⑥)</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。					
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：特になし 参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：すべての開講科目 資格との関連：保育士・幼稚園教諭二種免許							
学修上の助言				受講生とのルール			
幼児学ゼミナールは学生が主体的に活動を行う科目です。だから、与えられた課題は決められた日に提示できるようにすること。				<p>① 無断欠席や遅刻をしない学生 ② 積極的にゼミ活動に参加できる学生 ③ 自己選択・自己責任ができる学生</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
			③			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
	レポート	50	①	✓		① 岡崎げんき館の活動を通して、学んだこと考えたことをまとめる ② 「ヤングアスリートプログラム」の活動を通して、学んだこと・考えてことをまとめる。
			②	✓		
③			✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	岡崎げんき館活動やヤングアスリートプログラムなど1年間のゼミナール活動を幼児学ゼミナール報告会でまとめる		
		②	✓			
		③	✓			
学修行動 社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>（主体性）</small> 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 <small>（実行力）</small> 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 <small>（課題発見力）</small> 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 <small>（創造力）</small> 物事を考える時に、固定概念に捉われないことなくいろいろな方向から考えることができたか。 <small>（発信力）</small> ゼミメンバー及び利用者（親子・障がいのある子ども）に伝わるように表現できる。 <small>（傾聴力）</small> 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 <small>（規則性）</small> 遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる		
		②	✓			
		③	✓			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解した上で展開できる。 ②障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解した上で展開できる ③インクルーティブ保育・教育を考え、深めることができる ④総合評価が90点以上はS（秀）、89～80点はA（優）とする。	①幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解できる。 ②障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解できる ③インクルーティブ保育・教育を考慮することができる ④総合評価が79～70点はB（良）、69～60点はC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ヤングアスリートプログラム②でのゼミ活動の準備① ヤングアスリートプログラムについて学ぶ	演習	①ヤングアスリートプログラムについて理解する	(予習) 7月に行ったヤングアスリートプログラムを振り返る。 (復習) 障がいのある子どもに対しての遊びを調べる	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	ヤングアスリートプログラム②のゼミ活動の準備② ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
3	ヤングアスリートプログラム②のゼミ活動の準備③ ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で準備したものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	ヤングアスリートプログラム②でのゼミ活動・立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う	演習	①障がいのある子どもに対しての遊びの展開方法が理解できる ②障がいのある子どもに関わる視点が理解できる。	(予習) ①ヤングアスリートプログラムの役割を理解する。 ②立案した遊びを確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
5	ヤングアスリートプログラム③でのゼミ活動の準備① ヤングアスリートプログラムについて学ぶ	演習	①ヤングアスリートプログラムについて理解する	(予習) 7月・10月に行ったヤングアスリートプログラムを振り返る。 (復習) 障がいのある子どもに対しての遊びを調べる	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
6	ヤングアスリートプログラム②のゼミ活動の準備② ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	ヤングアスリートプログラム③のゼミ活動の準備③ ヤングアスリートプログラムの企画立案を行う。	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で準備したものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
8	ヤングアスリートプログラム③でのゼミ活動・立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う	演習	①障がいのある子どもに対しての遊びの展開方法が理解できる ②障がいのある子どもに関わる視点が理解できる。	(予習) ①ヤングアスリートプログラムの役割を理解する。 ②立案した遊びを確認する (復習) ①ヤングアスリートプログラムでの活動を振り返る。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	岡崎げんき館活動の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習)	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	岡崎げんき館活動③の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導案が考えられる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	岡崎げんき館活動③ 子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
12	①幼児学ゼミナール報告会について説明を行う。	演習	①幼児学ゼミナール報告会に向けての作業工程がわかる。	(予習・復習) 幼児学ゼミナール抄録集を作成する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
13	① 幼児学ゼミナール報告会の準備を行う	演習	① 幼児学ゼミナール報告会で与えられた役割を理解する	(予習) 幼児学ゼミナール報告会を確認する (復習) 幼児学ゼミナール報告会の役割を確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
14	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う	演習	v①幼児学ゼミナール報告会で発表ができる状況になる	(予習) 幼児学ゼミナール報告会の原稿を作成する。 (復習) 幼児学ゼミナール報告会で読む、原稿を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	幼児学ゼミナール報告会で口頭発表等を行う。	演習	1年間、ゼミナールで行なったことを伝えることができる。	(予習) 幼児学ゼミナール報告会で読む、原稿を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52332I	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ:本多峰和) Seminar: Study of Methodology For Infantile Education Ⅱ	本多 峰和			1	必修	2年後期

科目の概要

多様な音楽表現における視野をさらに広げ、子どもたちにおける音楽表現を研究する。「岡崎げんき館」では、研究成果を発揮し親子で楽しく歌ったり、踊ったりすることを活動目標とする。子どもたちにおける音楽表現の研究成果および「岡崎げんき館」での活動報告を幼児学ゼミナール報告会で発表する。学びの過程で課題を発見し、習得した知識や技術を活用し、自分なりに課題解決できる力を身につける (D.P.①②③④⑥)

学修内容	到達目標
① 子どもの音楽表現の技術について認識する。 ② 実践を通し、どのような音楽表現が子どもにとって楽しいかを考察する。 ③ 「岡崎げんき館」に向けて指導案を作成する。 ④ 「岡崎げんき館」の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わり、保育をさらに理解する。 ⑤ 幼児学ゼミナール報告会に向けての発表内容を考える。	① 子どもの音楽表現の技術について考えることができる。(D.P.③) ② 実践を通し、どのような音楽表現が子どもにとって楽しいかを考えることができる。(D.P.③) ③ 「岡崎げんき館」に向けて指導案を考えることができる。(D.P.③) ④ 「岡崎げんき館」の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わるができる。(D.P.①②③④⑥) ⑤ 幼児学ゼミナール報告会においてわかりやすく発表することができる。(D.P.③)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題を行うために必要な知識について、文献を使って自己学習をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	実践を行うための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

参考文献: 「子どものあそびとうた」小泉文夫著、「童謡はどこへ消えた」服部公一著、「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部、「唱歌・唱歌の世界」金田一春彦著、「唱歌・童謡100の真実」竹内貴久雄著、「童謡の風景1・2・3」合田道人文 村上保絵、「わらべうたが子どもを救う」大島清・大熊進子・若井正浩著、「オペラでわかるヨーロッパ史」加藤浩子著、「オペラへの招待」ジョン・ルイス・デイガニエターニ著、「オペラ史 上」D・J・グラウト著、「オペラのすべて」アレクサンドロ・タヴェルナ著、「知識ゼロからの ミュージカル入門」塩田明弘著、「ミュージカルおもしろ雑学事典」石原隆司著、「ブロードウェイ・ミュージカル」井上一馬著、「ミュージカル史」小山内伸著、「バレエの世界へようこそ: あこがれのバレエ・ガイド」リサ・マイルズ著、「ビジュアル版バレエ・ヒストリー バレエ誕生からバレエ・リュスまで」芳賀直子著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著、「保育内容 音楽表現」大畑祥子編著、「幼児の音楽教育」音楽教育研究協会編、「世界のあそび歌35/40」後藤田純生著、「なぜ、いま学校で「表現教育」なのか?」芸田協出版部、「幼児期」岡本夏木著、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 幼児表現 (音楽Ⅰ) (音楽Ⅱ) (音楽Ⅲ)、子どもの音楽表現、保育内容 (表現)
資格との関連: 保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加および活動。	欠席をしない。学生相互の協力関係。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
				④						
				⑤						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
					④					
					⑤					
		レポート		15	①	✓				
					②	✓				
					③	✓				
					④	✓				
					⑤	✓				
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		75	①	✓						
			②	✓						
			③	✓						
			④	✓						
			⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓					
				②	✓					
				③	✓					
				④	✓					
				⑤	✓					
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) の基準 協調性を持ち、積極的に真面目な取り組みができており、研究課題に対して深く理解をしている。</p> <p>A (優) の基準 協調性を持ち、積極的に真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。</p>	<p>B (良) の基準 協調性を持ち、真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。</p> <p>C (可) の基準 協調性を持ち、研究課題に対して理解をしている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「岡崎げんき館」での反省・振り返り	グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	ゼミ生全員が「岡崎げんき館」での活動について書いた反省・振り返りを共有し、それらをもとにNotebookLMを使い、各自がレポートを作成する。自分ひとりの視点だけでなく、全員の気づきや意見を知ること、で、「岡崎げんき館」での活動の在り方について、より深く考えることができる。	(予習)「岡崎げんき館」の反省・振り返りの確認。 (復習)レポートに記述したことをもう一度熟読する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
2	幼稚園の音楽発表会(DVD)を鑑賞し、子どもたちにおける音楽表現を考える。	映像鑑賞 グループワーク フィードバック(討議内容を評価する)	幼稚園の音楽発表会(DVD)を鑑賞し、子どもたちにおける音楽表現を考えることができる。	(予習)音楽に関するYouTubeなどの動画を鑑賞する。 (復習)DVD鑑賞で書き留めた内容を振り返り、今後の保育の参考とする。	90	主体性 課題発見力 創造力 規律性
3	様々な歌唱表現(DVD)を鑑賞し、保育の歌唱表現について考える。	映像鑑賞 ディスカッション フィードバック(討議内容を評価する)	様々な歌唱表現を理解し、それらを保育に活かす視点で考えることができる。	(予習)様々な歌唱表現に興味を持つ。 (復習)声における音楽表現について理解を深め、多角的に音楽表現を考えることができる。	90	主体性 働きかけ力 発信力 柔軟性 規律性
4	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	自身のアイデアや意見交換をしながら活動内容を討議できる。	(予習)季節に合った絵本の下調べをしておく。 (復習)表情、声の大きさなどを考えながら絵本の読み聞かせの復習をする。	90	主体性 働きかけ力 発信力 柔軟性 規律性
5	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもが楽しめる音楽表現を考え、活動内容を討議できる。	(予習)0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた、唱歌、童謡を考えておく。 (復習)0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた、唱歌、童謡の復習。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
6	「岡崎げんき館」に向けての準備活動を行う。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業ができる。質のよい手作り楽器を目指す。	(予習)手作り楽器について調べておく。 (復習)手作り楽器の補修など安全面に配慮する。	90	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
7	「岡崎げんき館」での活動 および振り返り	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもおよび、子どもと保護者が楽しめる音楽表現を笑顔で活動できる。行った活動に対しての振り返りから各自が様々なことを学ぶ。	(予習)「岡崎げんき館」で行う活動内容の把握。 (復習)「岡崎げんき館」での活動の反省と振り返りを行う。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
8	子どもの成長発達と音楽性および音楽表現の技術について考える。	講義 演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもの成長発達と音楽性について考えることができる。 子どもの音楽表現の技術について理解し、指導法を自分なりに考えることができる。	(予習)子どもの発達について理解しておく。音楽表現について考えておく。 (復習)参考資料を読み理解を深め、自身の音楽表現を振り返る。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	自身のアイデアや意見交換をしながら活動内容を討議できる。	(予習) 季節に合った絵本の下調べをしておく。 (復習) 表情、声の大きさなどを考えながら絵本の読み聞かせの復習をする。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	「岡崎げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもが楽しめる音楽表現を考え、活動内容を討議できる。 子どもと保護者が楽しめる音楽表現を考え、活動内容を討議できる。	(予習) 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた、唱歌、童謡を考えておく。保護者と子どもについて考えておく。 (復習) 0-3歳児向けの手あそび、体あそび、わらべうた、唱歌、童謡の復習。保護者を行う音楽表現について理解を深める。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	「岡崎げんき館」に向けての準備活動を行う。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	「岡崎げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業ができる。質のよい手作り楽器を目指す。	(予習) 手作り楽器について調べておく。 (復習) 手作り楽器の補修など安全面に配慮する。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	「岡崎げんき館」での活動 および振り返り	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する)	子どもおよび、子どもと保護者が楽しめる音楽表現を笑顔で活動できる。行った活動に対しての振り返りから各自が様々なことを学ぶ。	(予習) 「岡崎げんき館」で行う活動内容の把握。 (復習) 「岡崎げんき館」での活動の反省と振り返りを行う。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての準備活動を行う。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する) PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 調べ学習、「岡崎げんき館」での活動をパワーポイントにまとめる。	(予習) 「岡崎げんき館」での活動をまとめる。 (復習) ゼミナール報告会のパワーポイントの見直し。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての準備活動を行う。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する) PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 子どもにおける音楽表現、調べ学習、「岡崎げんき館」での活動をパワーポイントにまとめる。	(予習) ゼミナール報告会の内容把握。 (復習) ゼミナール報告会のパワーポイント、実践の見直し。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての準備活動を行う。	演習 グループワーク フィードバック(演習、討議内容を評価する) PC作業	舞台での音楽表現活動の練習。 子どもにおける音楽表現、調べ学習、「岡崎げんき館」での活動をパワーポイントにまとめ発表準備を完成させる。	(予習) ゼミナール報告会の内容把握。 (復習) ゼミナール報告会に向けての最終確認。	90	主体性 働きかけ力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力